

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 2 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日. Values include 4070600962, 株式会社エルダーサービス, グループホーム高見, 福岡県北九州市八幡東区高見5丁目2-1, 令和4年12月5日.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

コロナ禍でありますが高見中学校、特別視覚支援学校、高見保育園があり生徒や園児の登下校や総合体育館や福祉公園を散歩される方たちとの挨拶交流があります。デッキなどの敷地内に季節の花などを地域の方との協力の元プランターなどに整備しています。ご利用者の嚥下状態の把握・改善の為に歯科衛生士に週1日口腔ケア・口腔体操を行ってもらいその都度状態の記録を行っています。ご利用者お一人おひとりの状態に合わせた介護を行う為、職員は「気づきと思いやり」の精神で接しています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先, URL: http://www.kaigokensaku.jp/40/index.php

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

県営中央公園や総合体育館、福祉公園、金刀比羅公園等、豊かな自然環境の中に「グループホーム高見」は位置しており、開設して18年目を迎えている。高見中学校や特別支援学校にも隣接し、保育園も近隣に位置するため、コロナ後の交流再開を楽しみにしている。法人内系列事業所や認知症疾患医療センターとの連携を密にし、職員育成や事例の共有、日々の健康管理や災害対策等を通じて、サービスの質の確保に取り組んでいる。敷地内のプランターの整備の為に日常的に地域の方の協力を得ていたり、調理担当者の方の配置により、日々工夫しながら手作り料理を提供する等、コロナ過の中でできる事を検討しながら、入居される方々への暮らしの継続に向き合っている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 4 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日, 評価結果確定日. Values include 株式会社 アーバン・マトリックス 福祉評価センター, 福岡県北九州市戸畑区境川一丁目7番6号, 令和5年1月23日, 令和5年3月27日.

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Rows 58-64 describe various service outcomes and staff actions.

| 自己評価および外部評価結果     |     |                                                                                                                             |                                                                  |                                                                                                                                 |
|-------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自己                | 外部  | 項目                                                                                                                          | 自己評価                                                             | 外部評価                                                                                                                            |
|                   |     |                                                                                                                             | 実践状況                                                             | 実践状況                                                                                                                            |
| <b>I 理念に基づく運営</b> |     |                                                                                                                             |                                                                  |                                                                                                                                 |
| 1                 | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                                                          | 理念はリビング・事業所に掲示行い、毎朝唱和を行っている。職員間で利用者様の日々の状態を共有行い、状態の変化に早期に対応出来る。  | 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた法人理念を掲げ、朝礼時に唱和を行っている。年度目標の設定や振り返りの機会を持つことで、理念の実践状況を確認している。                                                  |
| 2                 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                                                          | 近隣の方たちの挨拶やプランターの整備を協力して行っています。                                   | 町内会に加入し、回覧板の受け渡しを行っている。コロナ禍の為、交流機会は減少しているが、事業所玄関前のプランターの整備の為に、日常的に地域の方の協力を得ている。隣接する特別支援学校の先生方とは、コロナ後について意見交換する場面もあった。           |
| 3                 |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                                                        | 相談窓口をせっちしており、認知症を含めた相談を受け入れる体制を整えています。                           |                                                                                                                                 |
| 4                 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている                                     | コロナ禍で書面会議になっていますが地域包括支援センターよりその都度書面での評価・助言を貰っています。               | 現状は新型コロナウイルス感染防止対策の為、書面会議としており、議事録にて現状報告を行っている。が、今後の通常開催に向けて協議を行っているところである。                                                     |
| 5                 | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる                                                | 空き室情報の報告を行っています。<br>地域包括支援センターの方に運営推進会議での施設内の近状報告を行い、助言をもらっています。 | 新型コロナ感染防止対策の為、運営推進会議は書面会議となり、議事録を地域包括支援センターに送付している。議事録の内容にコメントを頂く機会もあり、双方向での意見交換の機会となっている。感染対策や空床状況、各種手続きについて、情報共有や問い合わせを行っている。 |
| 6                 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束実態調査を行い、2か月に1回身体拘束適正委員会を開催し、身体拘束ゼロ活動を行っています。                 | 「身体拘束実態調査」を毎月実施し、事業所の現状を確認している。また、福岡県身体拘束0宣言に参加するとともに、適正化に向けた指針の作成や定期的な委員会開催、年に複数回の研修実施等を通じて、ケアの質の向上に取り組んでいる。                   |
| 7                 |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 高齢者虐待防止についての施設内研修を行っています。                                        |                                                                                                                                 |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                                 | 自己評価                                                                          | 外部評価                                                                                                                    |                   |
|----|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                    | 実践状況                                                                          | 実践状況                                                                                                                    | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  | (6)  | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している                                        | 権利擁護の研修を行い、成年後見人制度の理解を深め、ご家族様に相談や提案出来る様に努めています。                               | 日常生活自立支援事業や成年後見制度に関する資料の整備や研修実施により、必要時には活用に向けた支援が行えるよう体制の整備に努めている。                                                      |                   |
| 9  |      | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                                                             | 契約時に一緒に契約書や重要事項説明書の読み合わせを行い、その都度、疑問点などは説明を行い理解・納得の上で契約を行っています。                |                                                                                                                         |                   |
| 10 | (7)  | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                                         | コロナ禍の為、面会の回数が減っている為、逐一ご家族様へ電話連絡や毎月、ご利用者様の状態報告の手紙を送付しています。面会の要望などその都度対応行っています。 | 定期的に事業所通信を発行し、写真と共に日々の暮らしぶりを伝えている。毎年、家族懇親会を開催していたが、コロナ禍の為、止むを得ず中止となっている。新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、オンラインでの面会や玄関・デッキでの面会等を実施している。 |                   |
| 11 | (8)  | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                                                          | 日頃から声かけを行い、話しやすい環境の構築に努めています。玄関の扉のビニール設置など職員の提案にて行いました。                       | 新型コロナ感染状況を踏まえて、定例会やミーティングは随時柔軟に開催している。面会の方法等に職員の提案が活かされ、現状としてはクラスターは発生していない。                                            |                   |
| 12 |      | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている                                          | 個別に話し合える時間を設けてなるべく希望に沿った環境や条件の整備に努めています。                                      |                                                                                                                         |                   |
| 13 | (9)  | ○人権の尊重<br>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している | スキルアップを推奨しており、資格取得や研修の提案を行っています。                                              | 職員の募集・採用にあたり、年齢や性別等による排除は行われていない。個人面談や人事考課制度の活用により、職員個々のスキルアップや自己実現を支援している。                                             |                   |
| 14 | (10) | ○人権教育・啓発活動<br>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる                                                               | 認知症高齢者の権利擁護や尊厳・高齢者虐待防止などの研修を年間計画書で位置付けています。                                   | 「倫理及び法令遵守」や「介護と人権」、「虐待関連法」「権利擁護」「認知症ケアの倫理」等の研修を年間計画の中に位置付け、職員への人権教育、啓発に努めている。                                           |                   |

| 自己                          | 外部   | 項目                                                                                             | 自己評価                                                      | 外部評価                                                                                                     |                   |
|-----------------------------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                             |      |                                                                                                | 実践状況                                                      | 実践状況                                                                                                     | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 15                          |      | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 資格所得を推奨しています。                                             |                                                                                                          |                   |
| 16                          |      | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他事業所の管理者と密に連絡を取り、それぞれの良い所や改善した方が良い所の指摘を行い、サービスの向上に努めています。 |                                                                                                          |                   |
| <b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |                                                                                                |                                                           |                                                                                                          |                   |
| 17                          |      | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている           | 常日頃から傾聴を心掛けて安心して過ごして頂けるよう努めています。                          |                                                                                                          |                   |
| 18                          |      | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている                      | ご家族や本人様の要望や相談をしやすいように傾聴行い、報告・連絡・相談を密にしています。               |                                                                                                          |                   |
| 19                          |      | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている                  | 本人様やご家族様が何を一番に望んでいるかを見極めて適したサービスの提案を行っています。               |                                                                                                          |                   |
| 20                          |      | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                                  | お互いに「ありがとう」と言える関係作りに努めています。                               |                                                                                                          |                   |
| 21                          |      | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている                   | 小さな事でも報告・連絡・相談を行い、緊急時など対応を任せてもらえる関係を築いています。               |                                                                                                          |                   |
| 22                          | (11) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                               | 居室では使い慣れた家具などを使用してもらい昔の写真などを飾ってこれまでの暮らしや関係性の継続に努めています。    | コロナ禍の中ではあるが、面会方法の工夫やライン電話を活用し、家族等との関係継続に向けた支援を行っている。居室には使い慣れた物や家族の写真等が持ち込まれており、これまでの暮らしの継続に向けた配慮が行われている。 |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目                                                                                                     | 自己評価                                                   | 外部評価                                                                                                       |                   |
|------------------------------------|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                    |      |                                                                                                        | 実践状況                                                   | 実践状況                                                                                                       | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 23                                 |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                                    | 随時声かけを行ったり、それぞれが参加出来るレクリエーションを行い、疎外感を与えないように努めています。    |                                                                                                            |                   |
| 24                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所後もご家族様からの相談にのったり、経過フォローの支援も行っています。                   |                                                                                                            |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |                                                                                                        |                                                        |                                                                                                            |                   |
| 25                                 | (12) | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                           | 入居時に「生活と安全のカルテ」をご家族様に記入してもらいご家族様や本人様の希望・意向把握に努めています。   | 入居時に家族の協力を得ながら「生活と安全のカルテ」を作成し、これまでの暮らしぶりや思いや意向の把握に向けて取り組んでいる。職員間で情報共有と検討を行い、日々の生活や介護計画への反映に結び付けている。        |                   |
| 26                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | アセスメントシートを活用し経過等の把握に努めています。                            |                                                                                                            |                   |
| 27                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている                                                     | 日々の状態を職員間で共有を行い、出来る事出来ない事の把握や毎日の記録により変化に気づけるように努めています。 |                                                                                                            |                   |
| 28                                 | (13) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人様やご家族様の意向を踏まえ、毎月のモニタリングやアセスメントを行い、個別にサービス計画を作成しています。 | 本人や家族の思いや意向を踏まえ、ポジティブな視点を確保しながら、個別性ある介護計画を作成されている。毎月のモニタリングやカンファレンス、アセスメントの見直し等を通じて、現状の確認と見直しの必要性を検討されている。 |                   |
| 29                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | シーン毎の対応を職員間で共有を行い、より良い介護が出来るように随時見直しを行っています。           |                                                                                                            |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                  | 自己評価                                                                    | 外部評価                                                                                                                                           |                   |
|----|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                     | 実践状況                                                                    | 実践状況                                                                                                                                           | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる                            | 必要に応じて訪問歯科・訪問看護が利用出来る体制を整えています。                                         |                                                                                                                                                |                   |
| 31 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域の方と連絡を取り、運営推進会議への参加や近隣の学生さんとの交流を行っています。                               |                                                                                                                                                |                   |
| 32 | (14) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                 | 入居時に連携医療機関についての説明を行い、かかりつけ医による月1回の往診を行っています。                            | 入居時に医療との連携体制について説明し、意向を確認している。認知症疾患医療センターとしての指定を受ける協力医療機関との密な連携が図られ、定期的な訪問診療が実施されている。法人内に訪問看護事業所が開設され、更に連携がとりやすい体制となっている。                      |                   |
| 33 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 日常の中で気づいたことなどを看護職の方へ伝えその都度にご利用者様に適した対応を行える体制を整えています。                    |                                                                                                                                                |                   |
| 34 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院した際には病院の相談員と密に連絡を行い、退院後にスムーズに元の生活に戻るよう努めています。                         |                                                                                                                                                |                   |
| 35 | (15) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる   | 入居時に重度化した場合や終末期のあり方についてかかりつけ医より説明を行っています。ご家族様の意向を確認し状況に合わせ方針の共有を行っています。 | 重度化した場合や終末期のあり方については、入居時に事業所としての方針や医療との連携体制を説明し、意向を確認している。状況の変化に伴い、主治医を交えた話し合いを重ね、方針の共有に努めている。法人内に訪問看護事業所が開設されたことにより、看取りの対応も含めたチームケアの充実が期待できる。 |                   |
| 36 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている                                              | 心臓マッサージやAEDの使用法の研修や事故発生時の初期対応について定例会などで職員間の共有を行っています。                   |                                                                                                                                                |                   |

| 自己                               | 外部   | 項目                                                                               | 自己評価                                                                  | 外部評価                                                                                                                 |                   |
|----------------------------------|------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|                                  |      |                                                                                  | 実践状況                                                                  | 実践状況                                                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 37                               | (16) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている           | 各種災害マニュアルの作成を行い、年2回の防災訓練を行い、そのうち1回は夜間時想定で行っています。                      | 各種災害対応マニュアルを整備し、年2回、様々な場面を想定した避難訓練を実施している。外部機関により「ハザード情報レポート」が作成され、事業所住所地の各種災害に関する詳細なリスク評価が実施される等、災害対策への意識の高さがうかがえる。 |                   |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |                                                                                  |                                                                       |                                                                                                                      |                   |
| 38                               | (17) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 接遇マナーやプライバシーの保護を年間研修計画の中に位置付け取り組んでいます。                                | 「個人情報保護」や「プライバシー保護」、「介護と人権」「認知症ケアの倫理」等の研修を年間計画の中に盛り込み、職員の意識向上に力を入れている。また個別の時間の流れや居場所の確保等にも配慮し、個人の尊重とプライバシーの確保に努めている。 |                   |
| 39                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 本人様に声かけ・傾聴を行い、自己決定出来るように努めています。                                       |                                                                                                                      |                   |
| 40                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | その日の体調や様子を見て個別に声かけを行い、本人様のペースに合わせた支援に努めています。                          |                                                                                                                      |                   |
| 41                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 希望に沿って化粧水の使用や爪切りを行っています。2か月に1回の訪問理容を行っています。                           |                                                                                                                      |                   |
| 42                               | (18) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 栄養士による献立に沿って調理員を配置し季節の食材やご利用者様にあった食事形態で提供しています。おやつ作りなど一緒に出来る機会をがあります。 | 調理担当者が配置され、栄養計算された献立のもとに、手作りの食事を提供している。季節や行事に合わせたメニューを企画したり、おやつ作りには入居者も力を発揮する場面もあり、食の楽しみを大切にしている。                    |                   |
| 43                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 日々の摂取量の把握を食事チェック表を活用しています。ご利用者様の状況に応じた支援に努めています。                      |                                                                                                                      |                   |

| 自己 | 外部   | 項目                                                                                   | 自己評価                                                                         | 外部評価                                                                                                                            |                   |
|----|------|--------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                      | 実践状況                                                                         | 実践状況                                                                                                                            | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                       | 週に1回歯科衛生士を配置し、口腔状態の把握・共有を行っています。状況に応じて訪問歯科の提案を行っています。                        |                                                                                                                                 |                   |
| 45 | (19) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている       | 水分・排泄チェック表の活用を行い、個別の状況やパターンの把握を行っています。日中は基本トイレの声掛け・誘導を個別のパターン・サインに応じて行っています。 | 排泄チェック表を作成し、個別の状況やパターンの把握に努めている。日中はトイレでの排泄を基本とし、個別のパターンやサインに応じた声掛けや誘導に努めている。水分摂取や食物繊維を多く含む食材の活用、体操やマッサージ等、個別に調整しながら、便秘予防に努めている。 |                   |
| 46 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                       | 水分摂取や適宜の運動やマッサージを行っています。                                                     |                                                                                                                                 |                   |
| 47 | (20) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 日常的に入浴出来る体制を整えています。タイミングを見て個別の声かけを行い、週に3回入浴出来るように努めています。                     | 基本的な入浴スケジュールは設定しているが、日常的に入浴を準備し、希望や状況、体調等に応じて柔軟な対応を行っている。浴室は広く、リフトやジェットバスが設備されている。                                              |                   |
| 48 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している                        | 個別の生活習慣に沿って居室で休んでもらえるようにエアコンや加湿器などの使用行い、室温・湿度の管理を行っています。                     |                                                                                                                                 |                   |
| 49 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている                   | 薬剤説明書を個別にファイルしており、変更があった際は即時情報の共有を行い、状態変化の確認に努めています。                         |                                                                                                                                 |                   |
| 50 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている      | 生活歴を把握することによりその人の力を活かせる役割を与える事で張り合いを持って過ごしてもらえるよう支援に努めています。                  |                                                                                                                                 |                   |



| 自己 | 外部   | 項目                                                                                                                               | 自己評価                                                                     | 外部評価                                                                                 |                   |
|----|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
|    |      |                                                                                                                                  | 実践状況                                                                     | 実践状況                                                                                 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 51 | (21) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している                      | 新型コロナウイルスの感染症拡大の為に外出する機会は減少していますが、デッキに出て外気浴が出来るように個別に声かけ・傾聴を行い支援に努めています。 | コロナ禍の為、止むを得ず外出の機会は減少しているが、玄関先やデッキにて気軽な外気浴を楽しめる環境である。コロナ後に向けて、地域交流の再開や外出の機会拡大を検討している。 |                   |
| 52 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している                                                  | 金銭管理はご家族様が行っています。                                                        |                                                                                      |                   |
| 53 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている                                                                           | 個別の要望に沿って電話やオンライン電話が出来るよう支援に努めています。                                      |                                                                                      |                   |
| 54 | (22) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングでは季節に応じた飾りつけを行っています。感染症対策の為、温度・湿度・換気に留意しています。                        | リビングの大きな窓から、隣接する中学校のグラウンの活動風景や、敷地内の木々を見ることが出来る。温度・湿度・換気に留意し、居心地の良さと感染対策に配慮されている。     |                   |
| 55 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている                                                      | リビングにソファを設置しており、好きな時に移動出来るようにしています。                                      |                                                                                      |                   |
| 56 | (23) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                                          | 本人様が居心地よく過ごせるように家族の写真や使い慣れた家具が持ち込まれており、動線を確保しつつ生活感がある配置を行っています。          | 居室には、使い慣れた家具や家族の写真等が持ち込まれ、生活感がある。動線にも配慮しながら、安心して居心地良く過ごせるよう配慮されている。                  |                   |
| 57 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している                                             | 個別のモニタリングを行い、本人様が出来る事を把握し、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように努めます。                    |                                                                                      |                   |